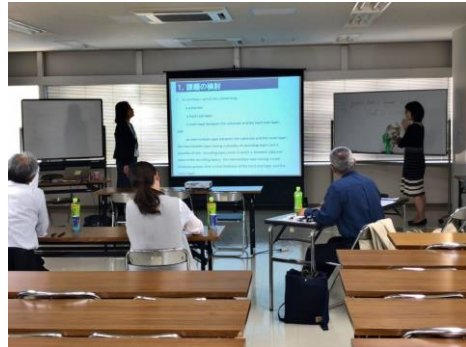


US PATENT 研究会～USクレームを理解する～第5回開催

本年6月より、新樹グローバル・アイピー特許業務法人(以下 GIP)のご協力により会員サービスの一環として開催してまいりました会員向け勉強会「US PATENT 研究会」は10月17日(水)に最終回(第5回)を迎えました。10名の参加者を集め開催いたしました。

最終回は第1回～第4回までのフォローアップということで、前半は多層光ディスクを題材にした請求項の英訳を課題として参加者同士で Element by Element や構造の記載等の検討を、後半は事前に参加者から募った US クレームにおける日々の問題点、例えば「審査時の発明認定の段階で無視されてしまい、進歩性等の議論に使いえなくなってしまう表現とは？」や「クレームを的確に書くための表現技術」等についての質問に対する解説を中心に進められました。



今回で全5回にわたる US PATENT 研究会は終了です。初めての試みでしたが、英文クレームに対する意識改革になったのではないかと思います。5回わたり講師を務めていただいた GIP の原田泉弁理士、第1回および第5回にゲスト講師で参加いただいた United IP Management の中村尚子先生、そしてご参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。